

# 2024年第4回定例会(12月議会)報告

## ●一般質問項目●



国分寺市議会議員  
たかせ  
高瀬かおる

- 1 介護事業について
- 2 市民の意見や提案を生かす取組について
- 3 空き家・空き店舗を活用したまちとつながる創業支援事業について
- 4 グリーンインフラについて
- 5 健康保険証とマイナ保険証について
- 6 障がい当事者・家族に寄り添った支援について



国分寺市議会議員  
こさか  
小坂まさ代

- 1 すべての子どもを大切に教育を  
(1)外国にルーツのある子どもの支援  
(2)読み書き障害のある子どもの支援  
(3)学校に行けない子どもの支援  
(4)経済的困窮家庭の子どもの支援  
(5)真の共生社会の実現に向けインクルーシブ教育の推進を
- 2 孤独・孤立対策について



国分寺市議会議員  
まつおか  
松岡まり

- 1 学校へ行きたくない子どもたちへの支援  
(1)「主体的で深い学び」を進めるために  
(2)食べる権利をすべての子どもたちへ
- 2 都市農業を守るために  
(1)農福連携  
(2)安全・安心な食の観点から
- 3 新庁舎の電力供給について  
(1)実質再生可能エネルギーとは  
(2)電力のつくられ方の見える化を
- 4 ファミリー・サポート・センター事業  
(1)援助活動の状況  
(2)令和7年度からの業務委託内容

### 声の不調で質問を取り下げる議会発言のあり方に工夫が必要

一般質問を行う予定で準備を進めていたが、突然その3日前に声が出なくなり、一般質問を取り下げざるを得ませんでした。熱もなく喉の痛みもないのに、声が出ないというもどかしい事態に、「代わり原稿が読めれば」という提案がありました。都議会では、聴覚障害のある議員が誕生したことで、パソコンの

### 訪問介護事業所が閉鎖!

高齢期を支える訪問介護の

文字が小型スピーカーを通じて読み上げられ、音声ガイドで議場に響くシステムが導入されています。誰もがいつ病気になるかわからないし、障害のある方が議員になるかもしれない。国分寺市議会でも、様々なハンディに対応できる環境整備に向けて提案していきます。

(高瀬かおる)

### 少子化が進む中での国民健康保険制度はどうあるべきか

2018年度に市区町村が担ってきた国民健康保険の運営に都道府県が加わり、保険料算定の仕組みが大きく変わりました。都内どこに住んでいても、同一の所得水準・世帯構成であれば同じ保険料水準にすることを目指すことが国や東京都から示されています。

2018年度に市区町村が担ってきた国民健康保険の運営に都道府県が加わり、保険料算定の仕組みが大きく変わりました。都内どこに住んでいても、同一の所得水準・世帯構成であれば同じ保険料水準にすることを目指すことが国や東京都から示されています。

2018年度に市区町村が担ってきた国民健康保険の運営に都道府県が加わり、保険料算定の仕組みが大きく変わりました。都内どこに住んでいても、同一の所得水準・世帯構成であれば同じ保険料水準にすることを目指すことが国や東京都から示されています。

### 新庁舎が開庁!

1月6日(月)から新庁舎での業務が開始しました。災害や環境にできる限りの対策を施し、新たな機能を取り入れて市民サービスの向上をはかることになっていきます。議場には親子傍聴席があります。ぜひ一度、足を運んでみてくださ

### 続けて恋ヶ窪の跡地整備に着手!

旧庁舎の跡地には、複合公施設と民間施設を一体的に整備します。まずは、2026年11月を目途に、全てのものを解体し更地にします。その後、新施設の建設にとりかかり、利

「新規の受入れは原則断らないが、ヘルパー不足で受けられないことがある」との回答が複数あり、このままでは必要なサービスが受けられなくなる可能性があります。

### 厚労省の動きに現場の声を!

介護従事者が高齢化する一方、若い世代に介護職が選ばれない傾向があります。厚労省は、来年度以降、介護の職業としての魅力を広報し、人材確保に向けて都道府県を支援する方針とのことです。市民



(高瀬かおる)

### 中学校での全員給食実現に向けて前進を

国分寺市の中学校で全員が食べられる給食を求める陳情について、厚生文教委員会ではネットをはじめ賛成多数で採択されましたが、最終本会議では自民公明維新などの反対により不採択となりました。

一方、食品への影響については、国によって健康影響評価が行われ、耐容一日摂取量として20ng/kg体重と設定されました。著しい健康影響が生じる状況にはないという見解も示されていますが、長期に渡り摂取した際の様々な種類のPFASの複合的な影響など、もっと大域的に調査や研究を進めるべきです。

### 国はしっかりとPFAS汚染対策を!

国分寺市の地下水で有機フッ素化合物PFASが高濃度で検出されましたが、PFAS汚染は全国各所に広がっています。環境省と地方公共団体が行った川や地下水などのPFOS・PFOAの調査によると2022年度は、38都道府県1258地点でおこなわれ、1Lあたり50ngまでと

(松岡まり)

国分寺市では担当課を中心とした検討委員会を立ち上げましたが、委員は市職員のみです。実現に向けて課題はいくつもありますが、まずは、当事者である中学生が入った協働体で話し合う場の設置をという、陳情者の考えに賛同し賛成しました。

(小坂まさ代)